



【青森山田一八学野西】後半、野西の本間倭(左)がシュートを放つも相手選手に阻まれる＝県総合運動公園陸上競技場

全国高校サッカー
青森県大会

ゴール遠く 野西敗れる

第96回全国高校サッカー選手権青森県大会決勝は22日、県総合運動公園陸上競技場で行われ、青森山田が

野西「全力出し切った」

○…大差で敗れた野西。王者・青森山田に「矢報いよ」と戦ったが零封負け。主将の中山基輝は「1点は取りたかったが」と悔し涙を流した。

県高校総体決勝でも戦ったが、その時はシュートが0本。ゴールを脅かすことができなかった。今回こそは雪辱を。キックオフと同時に相手ゴールを狙った。梓は捉えられなかったものの、「攻撃の姿勢は示せた」(中山)。後半にもゴールへ迫り、前回以上に力を付けた姿をヒッチで示した。

敗れはしたが「全力は出し切った」とイレブン。新入戦を控える後輩たちに、「打倒・青森山田」の悲願を託した。

郷家が4得点

○…4得点の活躍を見せた青森山田のMF郷家友太。4点目は後半22分にペナルティーエリアの左から

▽決勝
青森山田 113-00 八学野西 8-0
【得意言】郷家4、權崎2、佐々木、中村2、瀧尾、浦

11-0で八学野西を下して21年連続23度目の優勝を果たした。青森山田は全国高校選手権(12月30日開幕・駒沢陸上競技場ほか)に出場する。
(庄子鉄平、向中野一樹)

切り込み、右足を振り抜いた。左45度からのシュートを得意とする郷家は「海外の選手を見て参考にしている。(2列目からの)飛び出しは自分の持ち味」と満足をうな表情だった。「中盤3枚が顔を出さないと駄目と(監督に)言われた」と中盤のボールを支配。時には前線でのキープ力も見せつけた。左右にボールを配球し、チャンスを出したエースは「プレミアリーグで優勝し、さらに練習して選手権に臨みたい」と力を込めた。